



## 最後の一枚の葉 (41)

やがて、スーを呼びました。スーはチキンスープをガスストーブにかけてかき混ぜているところでした。

「わたしは、とても悪い子だったわ、スーちゃん」とジョンジーは言いました。「何かが、あの最後の葉を散らないようにして、わたしが何て悪いことを思っていたか教えてくれたのね。死にたいと願



## 最後の一枚の葉 (42)

うのは、罪なんだわ。ねえ、スープを少し持ってきて、それから中にワインを少し入れたミルクも、それから — ちがうわ、まず鏡を持ってきて。それから枕を何個か私の後ろに押し込んで。そしたら体を起こして、あなたが料理するのが見られるから」

それから一時間たって、ジョージはこう言いました。





最後の一枚の葉 (43)

原題：The Last Leaf

「スーちゃん。わたし、いつか、ナポリ湾を描きたいのよ」

午後にあの医者がやってきました。帰り際、スーも廊下に出ました。

「五分五分だ」と医者はスーの細く震えている手をとって言いました。「よく看病すればあなたの勝ちになる。これからわたしは下の階にいる別の患者を診なければ



最後の一枚の葉 (44)

ならん。ベーアマンと言ったな—  
画家、なんだろうな。この患者も  
肺炎なんだ。もう高齢だし、体も  
弱っているし、急性だし。彼の方  
は、助からんだろう。だが今日、  
病院に行って、もう少し楽になる  
だろう」

次の日、医者はスーに言いまし  
た。「もう危険はない。あなたの  
勝ちだ。あと必要なのは栄養と看



## 最後の一枚の葉 (45)

病 — それだけだよ」

その午後、スーはベッドのところに来ました。ジョンジーはそこで横になっており、とても青くて全く実用的じゃないウールのショルダーカーフを満足げに編んでおりました。スーは、枕も何もかも全部まとめて抱きかかえるように手を回しました。

つづく